

GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES IN DISTRICT 2790 (CHIBA)

ガバナー月信 | 2016-17年度
国際ロータリー第2790地区(千葉県)



Narita Gion Festival

CONTENTS

ガバナーからのメッセージ.....1	文庫通信 345号.....12
「第2790地区へのメッセージ」.....2	米山記念奨学会ニュース 195号.....12
「地区研修にあたって」.....3	叙勲・褒章・表彰／寄付者／新ロータリアン.....13
規定審議会報告.....4	出席・会員数報告.....14
ガバナー補佐就任にあたって.....5~11	

地区行動指針 「感謝と挑戦」

*Pursuing activities
sharing The Appreciation*



青木ガバナーご夫妻とジョン F. ジャーム RI 会長ご夫妻

——— 2016 - 17 年度のスタートにあたり ———

クラブ運営の指導的立場を担う会長・幹事の皆様は、準備万端整い、元気一杯に新年度を迎えられたことと思います。私は、「GETS」、「国際協議会」等で教育・指導を受けた上で、「PETS」・「地区研修・協議会」で皆様に RI テーマ、地区運営指針等を説明させていただきましたが、心を新たにガバナー年度のスタートに臨みました。

皆さんは、会員がロータリアンになって良かったと思う元気で活発な例会・活動の展開、及び仲間の輪の拡大への挑戦を通じ、今年度の RI テーマ「人類に奉仕するロータリー」の具現化に取り組んで下さい。前例の踏襲ではなく、変革への挑戦を期待しています。私を始めとして地区運営にあたるガバナー補佐、地区委員会、地区幹事団、そして地区事務局は、皆さんの活動を最大限に支援させていただきますので、宜しくお願い致します。

尚、ガバナーよりクラブ会長・幹事宛の情報提供等を目的として発行される「ガバナー月信」は、近年の当地区慣行に習い、コピーの位置づけで全会員に配布します。

さて、ジョン F. ジャーム RI 会長は、テーマ発表にあたり、①ロータリーに誘われた時点

で私達は素晴らしい仲間と出会い、そして他の人のために役立つことをする大きな機会を与えられた、②ロータリーとは何か、そして何に取り組んでいるかを地域に広め、仲間を増やすと共に、協力してより大きな目標を達成しよう、③単に会員を増やすのではなく、奉仕活動に取り組み、新会員を暖かく迎え入れ、4つのテストを真に実践するクラブ・会員が重要だと述べました。私は、ロータリアンであることに「感謝」と共に、「感謝の念」を活かす活動の展開、及び感謝の気持ちを分かちあう仲間の拡大への挑戦が肝要と考え、「感謝と挑戦」を地区行動指針としました。

本年4月の規定審議会では、会員拡大に資するクラブの裁量権を広げるべく、入会金、会員資格、例会開催日・運営等に関する規定が見直されましたが、私は、ロータリーの起源である職業奉仕の理念に立脚した上で、価値観を分かち合える種々業界の仲間との交流を通じて自らを高めると共に、他の人の役に立つ行動を追及していきたいと考えています。

皆で一緒に、元気なクラブ、そして魅力あるロータリーを築きましょう。



「第2790地区へのメッセージ」

副ガバナー 櫻木 英一郎
(千葉RC)

昨年度は皆様に大変お世話になり有難うございました。篤く御礼申し上げます。

地区運営は批判の対象

さて、頂いたテーマは地区に「こうなって欲しい」という事を書けとのご要望だと思えます。これは実際に全てを引き受けて地区を運営し、且つ他地区を知らなければ書けません。全てを引き受けるとは良い事も悪い事も全ての最終責任者となる事です。そして、往々にして耳に入るのは批判ばかりです。

批判とは？

批判は何らかの判断基準に照らして「違うぞ」という見解です。その判断基準をどこに置くかが問題です。5年前、10年前、20年前、草創期、或は自分が一番印象深かった頃などと様々です。だから判断基準は人によって違います。

変わる判断基準

ロータリーと言う「生き物」の判断基準は世界中の会員の意識や意見の多数決で決まります。4月の規定審議会で運営上の規定が大きく変わりました。「こんなのはロータリーじゃあない!」「良きロータリーはどこに行った?」というご意見が多いと想像します。では、良きロータリーはどんなもののでしょうか?それも当時の組織規定や方針の変更により「こんなのはロータリーじゃあない!」と言われたものだったのではないのでしょうか。

メイクアップ制度の変遷

20年前にメイクアップが前後1週間から2

週間になった時に多くの方が「規律が乱れる」と嘆いたと聞きます。しかし、規律が保たれたとされる前後1週間制にしても制度が緩和された結果であり、その2段階前はメイクアップすらなかった。例会回数はロータリーの草創期は月2回でした。このように判断基準は時代と共に変わります。

封書で来た依頼書

今回の原稿の依頼は4月に封書で頂きました。当時は私はガバナー、青木さんはエレクト。エレクトがガバナーに、ガバナーがパストガバナーに、又、委員会がパストガバナーに通知を出す時は封書でなければ失礼だという当地区伝統の判断基準かも知れません。しかし、受ける側からすれば封書は書類保管場所に行かなければ見られない、紛失の可能性もある。一方、メールならばクリッカー一つで取り出せるのでこの方が便利。

ガバナーはクラブの管理と、地区組織の運営者

ガバナーはRIから地区というクラブの集合体の管理を任され、最新のRI方針を各クラブに伝え、且つガバナーの任務を果たす為に地区組織を運営します。地区委員会はガバナーの分身として活動します。ガバナーに限らず各部署で判断と運営を任された誰もが最新の基準で、またロータリーの大枠の中での自分の基準で判断が出来、受ける側の誰もがそれを受入れるような地区であって欲しい。これを月信委員会からのご要望への応えとさせていただきます。



「地区研修にあたって」 みんな一緒に変わろう

地区研修リーダー 白鳥 政孝
(市原RC)

三大セミナーの掉尾を飾るべく地区研修・協議会が終わりました。恒例とはいえ準備された地区幹事団および地区委員会とご参加のロータリアンの皆さまに心から感謝申し上げます。

次年度クラブで重要な役割を担う皆さまが「ロータリーを語り、元気なクラブにしよう」と希望をもって一堂に集い、青木ガバナーからRIテーマおよび地区方針を聴いて各分科会ではクラブの運営と委員会活動の提案と助言を受けて話し合いました。しかし、一部の部会では地区側と参加側との価値観にずれがあり、双方に充実感とはほど遠いものとなってしまったようです。お互い理念を同じくして多様性を認めているロータリアン同士であるだけに本当に残念であります。

「地区研修にあたって」の寄稿に美辞麗句を連ねるより、ありのままを反省して改善していかなければなりません。まず、私たちは自分の言行にロータリアンとしての矜持を貫いているでしょうか。常に前向きの姿勢と寛容な心で話し合いをするならば、実りある会合になります。

今回の地区研修・協議会では、直前にあった規定審議会で従来の会員資格、例会数、職業分類撤廃などロータリーの存続に関わるものが大幅に緩和されてしまい、ロータリーは単なるボランティア団体になってしまう懸念がありました。そのため会合が浮足立ってしまい、会長部会やロータリー研修部会では規定審議会のことに時間が割かれてしまい、検討すべき肝心なことがあるのに時間を無駄にしたように思います。

今後、気になる制定案にクラブはどのように対処すべきかを考えると、クラブにはクラブ定款の他にクラブ細則があります。これは定款ののりを超えない限り、クラブの自由裁量で決めることができます。細則を決める範囲が広がったと思えば「自分たちのクラブ」という意識と愛着が芽生えてきます。それだ

けにクラブにおける細則の協議は慎重に行い、絶対に拙速は避けるべきです。

ロータリーの基本である理念・思想に何ら変わりはありません。この際、他のボランティア団体との違いを明確に知る絶好の機会でもあります。

各種セミナーで感じたことですが、毎年、地区やクラブでロータリー情報不足の対策を講じていますが、竜頭蛇尾に終わってしまい、ロータリーの情報不足は如何ともしがたい状況にあります。その結果、地域社会からは信頼をなくし、増強や退会にも影響を及ぼして高齢化と相まってクラブの活力がどんどん失われてしまい、クラブ存続の危機にかかわる深刻な問題となっています。それに加えてロータリーに対する姿勢の二極化が進み、対極の幅が広がっています。

ロータリーを学べば学ぶほどロータリーの本当の良さが体験できるのですが、ロータリーを知るためには、ロータリアン自身が向上心を奮い立たせる以外に方法はないのです。ロータリーを救い、クラブを良くするのは、他の誰でもないロータリアンであるあなた自身です。

今までの習慣を変えるのは容易ではありませんが、クラブには励まし合える素晴らしい仲間がいます。地区には様々な学習システムがあります。これらを積極的に活用することで自分自身変化してロータリーの素晴らしさを満喫したいと思います。

奉仕活動の体験も自己の成長に繋がり、ロータリーの精神に触れることもできます。まさにロータリーは実践哲学であるという証しです。クラブの運営、炉辺談話、勉強会、親睦会など、どんな時でも善意と向上心を持ち、誠実さと仲間意識を忘れずに、今こそ思う存分「ロータリーを語り、元気なクラブにしていこう」ではありませんか。



規定審議会報告

第2790地区代表議員
パストガバナー 増田 裕
(千葉中央RC)

2016年度の規定審議会は4月10日～15日の間、米国はシカゴ市のマリオットホテルで開催されました。議員構成は全世界534地区代表議員534名とR・I理事会役員数十名でした。立法案は181件（制定案117件、決議案64件）が受理され審議されました。日本からの立法案は26件（制定案17件、決議案9件）であり、第2790地区から立法案3件（制定案1件、決議案2件）でした。

立法案は動議として提案され審議されます。提案者の殆んどは地区代表として、十分な資料と検討を基に熱意を以て発表していました。そして提案した理由と主旨・効果を丁寧に説明し賛同を請願していました。

討論はディスカッションとは言わずダイベイトと表現され、賛成の声明、反対の声明を夫々真剣に発表し展開します。会場内はとても活発な討論が交わされその熱意と気迫に私は感動を覚えました。

表決の結果は、採択、否決、修正して採択、理事会付託、審議保留、撤回、とありとても合理的と思いました。改定された案件の決定は特別なことがない限り7月1日より効力が発生するとのことでした。

この熱意と気迫を会議1日目の数件の審議中に早くも私は感じ取りました。同時に自分

の審議会に対する情報不足、資料の検討不足から生じた怖気と不安に襲われました。しかしこの苦しい思いを持ちながら発表してどうにか1件の制定案の採択（賛成）を勝ち得ました。

発表者は夫々国際色豊かであり、全世界は広くいろいろな考えと形を持っている国、地区が在るんだと改めて耳で聞き肌で感じる事が出来ました。

以上貴重な体験をしましたことに感謝して報告と致します。

《追加付記》

- 地区内のクラブに関係する重要と思われる決定事項の確認と見解の説明は紙面の都合上今回は割愛しました。
- 今回の規定審議会の決定事項はMy-RotaryやRotary-org等のホームページで入手可能です。（英文）
- 新しい手続要覧（和文）は、1年以内に発刊されますが情報入手は遅れることとなります。
- 地区に特別委員会を設けました。ご質問等は委員会まで。



ガバナー補佐 就任にあたって

第1分区ガバナー補佐
藤原 孝夫 (市川南RC)

この度、2016-2017年度ガバナー補佐を引き受けることになりました、市川南ロータリークラブの藤原孝夫です。宜しくお願ひ致します。私がこの責務を果たせるか分かりませんが、地区リーダーの皆様、クラブ会長・幹事の方々や私の補佐業務をサポートして頂く幹事さんをはじめ、市川南ロータリークラブの仲間の協力を得て、1年間務めて参ります。

思い起せば2000年に誘われるままロータリークラブに入会させて頂きました。先輩諸氏の温かいご指導のもと会員との楽しいコミュニケーションの中、居心地の良さについて16年間も在籍させて頂いております。その間には、2004-2005年度幹事、2006-2007年度会長、2008-2009年度幹事、2015-2016年度幹事をさせて頂き、会員諸氏の温かなご支援のもとで、何とか無事にその役職を終了する事が出来ました。

今年度のテーマは『人類に奉仕するロータリー』です。ロータリーを通じて社会に貢献する機会、人類へロータリー奉仕を通じより良い世界を築く機会なのです。奉仕活動にご協力を宜しくお願ひいたします。

ロータリー財団・米山奨学金に対してもご理解をいただきたいと思ひます。第1分区でも会員が減少しており、会員増強は1年間の使命です。

青木貞雄ガバナーと情報交換及び連携を密にし、その円滑な管理運営に努めます。微力ではありますが、できる限りの努力を致しますので、第1分区の会員の皆様には温かなご指導とご支援の程宜しくお願ひ申し上げます。

市川南RC 本多 一之 会長より

藤原ガバナー補佐の座右の銘は「正直たれ」、「割り勘」、「カラオケ」。会友みんなと盛り上がり、青木ガバナーを補佐し「第1分区全クラブのため頑張る」こと。まるで4つのテストのような方です。市川南ロータリークラブは藤原ガバナー補佐を全力応援します。



ガバナー補佐 就任にあたって

第2分区ガバナー補佐
岡田 敏男 (船橋東RC)

櫻木ガバナー年度の昨年7月開催IMにて、前田ガバナー補佐の後任として補佐の実感のないまま挨拶して以来、補佐会議、本年3月の地区チーム研修セミナー、PETS、4月の地区研修・協議会と三大セミナーが終了して、青木ガバナーが誕生と同時に第2分区ガバナー補佐が就任します。

ジャームRI会長が2016-2017年度テーマである「Rotary Serving Humanity = 人類に奉仕するロータリー」と青木ガバナーの地区運営方針と行動指針「感謝と挑戦」を、私なりに理解して、第2分区6クラブ会員に伝えていきたい。

第2分区は船橋市と鎌ヶ谷市に6クラブあり、2016年2月現在会員数は、169名で、2015年7月より17名増加しているが、依然として、会員増強が最大の課題であることと承知している。青木ガバナーの地区運営方針であります1クラブ会員純増1名以上を、守りたい覚悟です。私は、例会の卓話充実、楽しい例会により、会員純増1名はできるし、各クラブ会長以下にお願いしたい。

船橋東RCは、2017年6月に40周年を迎えますので、35周年記念事業で気仙沼南RCとの密接な関係を、さらに発展してゆきたい。藤代実行委員長の行動力に期待したい現在、災害時の避難者が、ヘリコプター等の援助物資等、避難人数等掲示されたSOSシートを、教育委員会を、通じて、地元、小学校、中学校に贈呈したく、準備しています。

第2分区のクラブ会員の皆様の協力をお願いしたい。日本公認会計士協会千葉県会会長の3年間のいろいろな経験等を有効に生かして、70歳の体に問題ないように、青木ガバナーを助けていきたいのが、ガバナー補佐就任の覚悟です。まだまだ、がんばれるぞ。

船橋東RC 佐々木 光博 会長より

人柄はとて素晴らしい人なのですが、性格が少々せつちなところがあります。すぐまじめで思いやりのある人だと思いますが、人の話は聞きません。それでも、今回のガバナー補佐の要請を受けてから、少し変わったと思ひます。本人は、とて今回のガバナー補佐をやる気満々でいます。



ガバナー補佐 就任にあたって

第3分区Aガバナー補佐
卯田 惣治郎 (千葉中央RC)

ガバナー補佐就任にあたり、この機会を与えられた事に感謝申し上げます。

ロータリーは初期の段階から、人類への奉仕はロータリーの礎であり、存在理由そのものであります。「意義ある奉仕を行う最善の道はロータリアンになる事である」とRI会長も言っておられます。

さてRI規定審議会の結果を受け、ロータリーそのものが大きく変わろうとしています。しかしながら変えるべきもの、変えてはならないもの、そして時代の変化を見据えなければなりません。各クラブの会員同士がじっくり議論を重ね、各クラブの自主性の中で、同じ方向に向かって進まれる事を願っております。青木ガバナーは「感謝と挑戦」をサブテーマとして掲げました。今がロータリーの今後を決定づける大事な節目の年になるかも知れません。議論し挑戦しましょう！先達の方々に感謝し、クラブの歴史に鑑み、楽しく意義あるクラブ運営をしましょう！情報研修会、分区ゴルフ、IM等の中で会員同士が対話し、刺激し合って、実りある一年にしたいと思えます。

私自身まだまだ未熟ゆえ、共に勉強し行動して行きたいと思えます。微力ながら努力致しますので、会員の皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

千葉中央RC 松本 俊英 会長より

卯田は、ロータリークラブのことには精通しており、又、努力も惜しみません。正確な判断と責任感を持って物事を的確に処理します。人付き合いも良く、特に夜の付き合いはとどまることを知りません。後輩の面倒見も時には厳しく時には優しく懇切丁寧に教えてくれます。人望厚い懐の広い人物です。



ガバナー補佐 就任にあたって

第3分区Bガバナー補佐
金親 博榮 (千葉南RC)

補佐の任期は実質昨年9月から始まりましたが、回を重ねるに従い、私のロータリーに対する考えが、修正を迫られているという感を強くしています。

2010年GSEで訪れた米国ウィスコンシン州で、地域での代表的な職業人とは思いかねると思われる人々が、少なからず会員となっている事に驚きを覚えた事がありました。今年のRIの規定審議会による定款変更にも、ロータリーのボランティアグループ化ともいえる複数の内容が盛り込まれ、6年前の驚きが目前の事となった感を抱いています。

一人ひとりのロータリアンとして、地域、業界の誇り、社会的ステータスが背負う義務感を再認識し、深め、広げるという視点、社会的な認知度の向上、集団での成果の誇示、このための会員増強というステップの最終目的は、「人類に奉仕するロータリー」が、地域に、世界に対してどんな貢献が出来るかという問題意識の帰結と考えます。

おそらく、ロータリーの変容の背景には、グローバル化によるボーダーレス社会化、社会の多方面での多様なボランティア活動の活発化などに加え、日本では人口減少と高齢化の進展などの、環境のおおきな変化があるのでしょう。

激変の時期だからこそ、その根本について語り、見直し、変化する機会ともなる筈と考えます。

自らの職業を通しての他者への奉仕をベースとして、青木ガバナーの目指す「ロータリアンになってよかった」と感じられる活動について、情報研修会などを通して学び、互いに理解を深めたいと考えています。皆様のご支援、ご協力を宜しく申し上げます。

千葉南RC 小林 透 会長より

金親博榮の魅力は何といっても親しみやすさだと思います。私が新人ロータリアンだった頃、強面？に見えていた先輩方の中で、いつも優しい笑顔で接してくれました。その一方、クラブの行事や理事会の時にはズバッと鋭い意見を述べてくれる頼もしさも兼ね備えた人です。



ガバナー補佐 就任にあたって

第4分区ガバナー補佐
小野 恒靖 (富津中央RC)

人類に奉仕するロータリー、感謝と挑戦、人に奉仕し人に尽くすロータリークラブとして今年度RI会長と青木ガバナーの行動指針であります。

2016～17年度青木ガバナーの下で第4分区ガバナー補佐を務めさせて頂く事に成りました富津中央ロータリークラブの小野恒靖です。

入会30年になりましたが、ロータリーは奥深い学問です。まだまだ勉強中です。第4分区は伝統ある木更津ロータリークラブを中心として4市8クラブで活動しています。文化と伝統そして地域社会に密着した奉仕の輪を広げ、魅力ある町作りや奉仕活動に活躍しております。青木ガバナーは、会員がロータリアンになって良かったと思うようなクラブ作りに、また活発で元気なクラブ活動で仲間の輪の拡大に繋げる会員の意識醸成と詠っています。

地域で尊敬されるロータリアンとして一人一人の意識の向上と日々の研鑽、惜しみない努力が必要と思います。本年度は規定審議会においていくつかの改定がありましたがポールハリスの唱える、より良いロータリー活動を志す目的は皆同じなのです。価値観のわかり合える同志なのです。

これからはガバナー補佐として各クラブを訪問させて頂き、微力ながらガバナーとのパイプ役として少しでもお役に立てればと思っています。その節はご指導やご協力の程宜しくお願い致します。今年度のガバナー公式訪問は全てのクラブが合同訪問になりました。この1年間第4分区の皆さんが素晴らしい奉仕活動とクラブ運営が出来ますようお願い致します。

富津中央RC 榎本 守男 会長より

一言で紹介すると多才な人です。ピアノ、ヴァイオリン、ギター、三味線等をこなし、クラシックもジャズもOK。卓球は県代表として全国大会に連続出場中、職業の整骨院は地域の人の拠り所。ソフトで明るくハーモニーを信条とする入会30年のロータリアンです。



ガバナー補佐 就任にあたって

第5分区ガバナー補佐
鈴木 陽一 (館山ベイRC)

この度2016～17年度、青木貞雄ガバナーの下でガバナー補佐を仰せつかりました。館山ベイRCの鈴木陽一と申します。

一年間、当分区内各クラブ会員の皆様のご支援、ご協力を賜りながらこの大役を全うして行く所存でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。ガバナー補佐予定者となり、ガバナー補佐としての役割や責務などについての研修を受けてまいりました。本年度、青木ガバナーの掲げる2016～17年度地区の行動指針「感謝と挑戦」を踏まえて青木ガバナーの分身として担当分区内各クラブとの情報交換、連携を密にし、その円滑な管理運営に務め、各クラブの活動状況、特徴、課題等を把握し、情報の提供支援を行い、各クラブが抱える問題点を地区に報告し地区と共に改善に取り組んで行きます。各クラブ合同によるガバナー公式訪問例会を開催し、クラブの活動状況、特徴、課題、地区への要望事項等をガバナーに報告します。

又、ロータリー情報研修会を地区研修委員会と打ち合わせの上、前期に実施します。担当する分区の会員研修及び親睦を深める事を目的とするIMを後期に実施します。

分区内各クラブと青木ガバナー及び地区とのパイプ役に徹して一年間ガバナー補佐の任を全うして行きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

館山ベイRC 鈴木 照夫 会長より

『質実剛健』このことわざはこの方のためにある。と言っても過言ではなく、自身に実に厳しく、冷静に周りを見渡し、他人の意見をしっかり聞き他人を思いやれる。『兄貴』的存在で、会員一同から尊敬されております。



ガバナー補佐 就任にあたって

第6分区ガバナー補佐
河野 知宏 (茂原東RC)

このたび2016-2017年度第6分区ガバナー補佐を務めることになりました。

すでに昨年の秋以降、次期ガバナー補佐会議が開催され、青木ガバナー、白鳥研修リーダーをはじめ多くの方からガバナー補佐としての役割等々、ご指導いただきました。

改めてその責務の重さと、加えてロータリアンとして品格のある人間性の向上に努めなければならないことを痛感いたしました。微力ではありますが、皆様方のご協力、ご支援をいただきながら一年間頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、本年度RI会長の掲げるテーマは「人類に奉仕するロータリー」ですが、奉仕はロータリー設立当初から最も重要な目標でありました。

そしてロータリーの理念に基づく人道的支援活動は、世界各地で実践され社会の進歩発展に大きく貢献しております。このように偉大な伝統を私たちは継承し、行動を起こして行くことが重要と考えます。

そしてこのテーマを具現化するため、ガバナーの掲げる地区の行動指針は「感謝と挑戦」です。この指針に示された具体的内容を着実に実践することが出来るよう、青木ガバナーのご指導のもとガバナー補佐として協力させていただきたいと思っております。

又、本年4月に開催された国際ロータリーの規定審議会において、クラブ運営に関する規定の改定が採択されました。その中で、クラブの入会金、例会、職業分類等々大幅な改定となりました。

今後、この改定をクラブの活性化に繋げることが出来るよう、長期的視点に立ち、それぞれ自主性のあるクラブ運営について皆さんと一緒に考えて行きたいと思っております。

行き届かない点も多々あると思っておりますが、よろしくお願い申し上げます。

茂原東RC **篠田 哲寿** 会長より

第6分区河野ガバナー補佐は謙虚で温厚な大先輩です。市役所職員を退任した後に、高齢者介護施設の施設長を勤め上げました。第6分区は広域的な分区で移動に時間がかかりますが、責任感の強い河野ガバナー補佐は必ずその職務を全うするものと確信しています。



ガバナー補佐 就任にあたって

第7分区ガバナー補佐
鈴木 勝彦 (八日市場RC)

2016~17年、青木ガバナーのもと、第7分区のガバナー補佐を務めさせていただくことになりました八日市場RCの鈴木勝彦です。よろしくお願い申し上げます。

私事、平成元年6月の入会で、会員としての年数は永くなりましたが、所属する八日市場クラブよりガバナー補佐としての推薦をいただいてから、昨年7月のIMそして、9月26日(土)第1回ガバナー補佐会議をスタートに、6回の会議を重ね、手続要覧やその他の資料に接し、改めて、ロータリーを学び直しているところがございます。さらに、2月21日(日)IMにスタートし、3月26日(日)の会長エレクト研修、4月29日(金)の地区研修・協議会の中で、青木年度の地区行事計画も発表になり、心の準備も整ってまいりました。

“ロータリーの基本”を大事に、ジョンF.ジャームRI会長のテーマ「人類に奉仕するロータリー」、第2790地区青木貞雄ガバナーの地区運営にあたっての「感謝と挑戦」の行動指針の下、第7分区4クラブの会員皆さんが、ロータリアンになってよかったと思うようなクラブの活動、運営、活発で元気なクラブ、仲間の輪の拡大につなげられるように各クラブの会長、幹事さんを補佐できたらと思っております。

八日市場RC **江波戸 正雄** 会長より

鈴木ガバナー補佐は、八日市場クラブ内の諸問題に対し常に冷静沈着で、まわりの人の色々な意見に耳を傾け、問題を前向きに解決に導いてくれる良き先輩です。今年は第7分区にガバナーの意思を伝える、より重要な役割です。さらなる活躍を期待しています。



ガバナー補佐 就任にあたって

第8分区ガバナー補佐
山崎 吉高 (多古RC)

今までガバナーは雲の上の存在でしたが、ガバナー補佐事前オリエンテーションを重ねて、青木ガバナーの真摯な人柄に接し、ガバナーの分身として各クラブ間の情報交換、連携を密にし、分区内の円滑な管理運営に努め、活力あるクラブ活動を促進したいと思います。

当第8分区は地域的に、会員増強、財団活動や募金活動に厳しい地区ですが、地区研修委員会のもと「ロータリー情報研修会」、分区の会員研修及び親睦を目的とする「IM」、花見会、親睦ゴルフを開催し会員相互の親睦を深めたいと思います。

会員増強では、分区内各クラブの会員増強委員会の連携をはかり、分区内の職業分類を精査し会員増強を図りたいと思います。

又、各クラブが地区補助金の活用等で社会奉仕活動を充実させ、社会奉仕活動をPRする広報活動で、一般社会にロータリークラブの存在をもう一度アピールしたいと思います。

青木年度を「人類に奉仕するロータリー」のもと、充実したガバナー公式訪問を実現し、多忙ながらも「楽しい一年」にしたいと思います。

多古RC 萩原 承平 会長より

山崎吉高ガバナー補佐は、多古町の老舗の4代目ですが、有限会社丸三典礼を立ち上げ多忙な毎日です。大変明るいスポーツマンでゴルフの腕は？、時間を見つけてはグリーンに足を運んでいます。ロータリー歴22年、頭脳明晰なアイデアマンですので第8分区の活性化に期待大であります。



ガバナー補佐 就任にあたって

第9分区ガバナー補佐
高橋 宏一 (八街RC)

2016~17年度第9分区ガバナー補佐 (AG) を仰せつかりました八街RCの高橋です。そして同じ分区内からの青木貞雄ガバナーの御就任に対し、心から祝意を表します。

ガバナー補佐はガバナーの分身として、分区内クラブとの情報交換・連携を密にして、その円滑な管理運営に努めることが求められております。私にとりましては大変重責を感じますが、お引き受けした以上、分区内会員の皆様と共に「楽しいロータリー」、「元気なロータリー」を目指して尽力してまいります。そして久々に同じ第9分区内のクラブから青木ガバナーを輩出し、ガバナーを支えていくことに大きな期待と喜びを感じますが、同時に同じ分区のAGとして重責も感じます。地区大会、情報研修会、IMについては、分区内会員皆様のご協力を仰ぎ、目的を達成したいと思います。

今年度のジョンF.ジャームRI会長のテーマ「人類に奉仕するロータリー」では、「我々はロータリーで素晴らしい仲間と出会い、人類に奉仕する大きな機会を与えられた。その機会を生かすか否かは、我々一人ひとりの行動にかかっている」と説いておられます。ロータリーの活動内容は多岐にわたり、奉仕活動は無限であり、分区内会員の皆様と共にロータリー活動に励んでいく所存です。分区内クラブにおいては、若い会員の増強を奨め、「楽しい元気なクラブ」にする必要があります。今年度も会員増強及び退会防止を最重点行動として推進していく所存です。また各クラブでIT (SNS) の推進、例会の充実化・活性化により出席率の向上にも努めたいと思います。

八街RC 鎌形 芳法 会長より

八街ロータリークラブ創立50年の歴史の中、代々ロータリアンであり30年間100%の出席率(地区表彰)で、会員の中にはMr.ロータリーと呼ぶくらいに精通されております。また誠実・温厚な人柄でクラブ内になくはならない大先輩です。



ガバナー補佐 就任にあたって

第10分区ガバナー補佐
石戸 卓志 (柏東RC)

多くの分区においてガバナー補佐の選出は、所属クラブの持ち回りで担当しているのが現状と思われます。本年度第10分区は、タマタマ私と云うことになりました。

ガバナー補佐の最低選出基準に「責務を受諾する意志と能力」という一項目があります。

順番ですから「受ける覚悟」は渋々決めるとしても、能力については「懸念あり」です。

地区研修・協議会の直前に本年度規定審議会の結果報告があり、混乱が起きております。ロータリーは2001年から定款細則を大きく変えました。

大きな世界社会奉仕の制化を公共イメージアップとし、会員数の増加を計る。戦略計画、R財団の未来夢計画、素晴らしい計画です。現在ロータリーは増強のために会員資格の条件を拡大し、職業を持たない者（退職者、専業主婦）の入会を奨励し、Eクラブ、衛星クラブを認めている。さらにパイロット・プロジェクトとして、準会員、法人会員による会員増強の道を模索しています。

しかし「職業奉仕が最大の特徴、人づくりが目的」と教えを受けてきた私にそのギャップは大きく、いまだ自身のすりあわせがうまくできていません。そんな私にガバナー補佐が務まるのか、いささか不安であります。

しかしながら、多くのクラブにおいては会員の1/2以上、2/3程を2001年以後の入会者が占めているというのが現状でもあります。

RI会長テーマ、青木ガバナーの方針に沿えるよう努力し、分区内クラブの発展のために、私の能力の範囲内で頑張っていきたいと考えております。

柏東RC 酒巻 秀明 会長より

石戸ガバナー補佐は当クラブにおいて、2度会長職を務め、ロータリー歴も35年と長く、知識も豊富であり最もロータリーを理解していると思います。温厚な性格で周囲に気配りを欠かさず、クラブのけん引役として活躍され、ロータリアンに相応しい方です。



ガバナー補佐 就任にあたって

第11分区ガバナー補佐
岡村美智子 (佐倉RC)

職業分類は教育、12年のロータリー歴をWCSや青少年奉仕など殆どを公私共に国際と青少年関係に携わって参りました。今回は今までとは畑違いの大役で不安です。が、生来の脳天気で、異なる角度からロータリーを学ばせて頂く良い機会になるかもしれないと考え、お引き受けした限りは精一杯努力をしたいと存じます。

2016-17のテーマは、ジャーム会長は“Rotary serving humanity”、青木貞雄ガバナーは、“感謝と挑戦”です。

“人のために役に立つ”大きな機会を与えられたことに感謝すると共に、岐路に立つ今、新たな前進に向けて変革に取り組む行動=挑戦を求められていると、理解致します。ガバナーの分身である補佐として地区委員と共に、この行動指針の具現化のために努力する。皆様にご理解とご協力を頂くと共に、分区内7クラブの実情、本音の意見などをガバナーにお伝えし、各クラブの活発で、実りある活躍をサポートすることが、役目と存じます。

そのため、11分区の活動指針は、“多様な交流と絆”と致したいと存じます。即ち皆様クラブ内だけでなく、分区、地区の会員、他団体、出来れば海外の会員とも連携し交流の機会を多くし、より広く深い「人のつながり」=絆を、と切望します。ロータリーで一番の幸せは「人とのつながり」と実感しております。この幸せが実感できれば、退会も防げると確信致します。

さて、言うは易し、実現は如何に？ 変革挑戦のために、「変えるべきは変え、変えてはならないものは残す」とよく言われます。この「べきもの」の判断の基準は？ この判断が逆になると?! 私は粗忽者です。「天然」と言われます。先輩の皆様には驚かれることがあると存じますが、ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

佐倉RC 加藤 良二 会長より

岡村会員は、2004年佐倉RC入会。佐倉RCで3名の貴重な女性会員の一人。年齢不詳で永遠の乙女。正直な天然キャラで周囲を暖かくし、英語教師を長年(失礼!)務め、抜群の語学力を活かし、佐倉国際交流基金の理事を務めています。



ガバナー補佐 就任にあたって

第12分区ガバナー補佐
小倉 純夫 (松戸RC)

本年度12分区のガバナー補佐を務めさせていただきます。ロータリーに入会して25年になります。先輩から「ロータリーは、自己研鑽の場である」と伺ったことや、ポール・ハリスが私と同じ弁護士であったと聞いて、親しみをもって入会しました。これまでのガバナー補佐の研修等を通じて、ガバナー補佐の責務の重大さを自覚し、熱意をもってこの職務を全うする所存です。

私は、ガバナーの分身として12分区各クラブとの情報交換、連携を密にし、その円滑な管理運営に務めたいと考えています。

まず、ガバナーに対する責務として、各クラブの活動状況、特徴、課題、地区への要望を把握し、地区管理に資する情報を提供するとともに、ガバナーの地区行動指針「感謝と挑戦」の実践をしたいと思えます。

また、各クラブに対しては、クラブ訪問、情報研修会、IM等を通じて、元気なクラブとしての活動展開に資する情報の提供、その支援を行いたいと思えます。

幸い12分区は、松戸市内の5クラブで構成され、各クラブ内の意思の疎通や情報交換、連携をしやすい分区です。また各クラブは30名以上の会員数で、会員増強の問題もそれ程深刻ではなく、奉仕活動等も積極的に行われています。勿論、各クラブには、それぞれの課題や問題があるとは思いますが、その解決に向けた支援ができたらと考えています。

私は、「人類に奉仕するロータリー」のテーマのもと、ロータリアンになって良かったと感謝できる活動の展開に挑戦する1年にしたいと考えています。

12分区の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

松戸RC 織田 信幸 会長より

松戸RCは本年、創立60周年を迎えます。10年前の50周年で会長を務めたのが、今年度、第12分区G補佐の小倉純夫会員です。裁判官を9年間勤めた後、市内で弁護士事務所を開き平成3年入会、会員歴25年の大ベテラン、温厚、誠実、実直な性格で若手にも気さくに声を掛ける良き先輩です。



ガバナー補佐 就任にあたって

第13分区ガバナー補佐
青木 修 (流山RC)

今年度、第13分区（野田市・流山市、5クラブ）のガバナー補佐を務めさせていただきます流山RCの青木修と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年度、青木貞雄ガバナーの地区行動指針は、「感謝と挑戦」です。会員の皆様がロータリアンになって良かったと思うようなクラブの活動・運営が重要であり、同時に活発なクラブの活動を仲間の輪の拡大に繋げる会員の意欲醸成が非常に大切で、ロータリアンであることに誇りと感謝の念を持つような魅力あるクラブ、元気なクラブ作りを地区が支援していくこととあります。

4月29日の地区・研修協議会で発表された、「2016年規定審議会結果に基づくクラブ定款・細則の変更・修正」では、クラブ運営に関する重要な採択案件がありました。今後地区内に特別委員会を設置し、対策を講じると青木ガバナーから報告がありました。今年度地区研修リーダーの白鳥政孝PGの話の中に、「ロータリーの決まりや慣習に手抜きをしないことからすべてが始まる」とあります。ロータリーが誕生して111年、ロータリーの決まりや慣習が大きく変わってくる可能性もあります。しかし、クラブの自主性が尊重されるわけですから、各クラブ内で十分な話し合いを重ね、また分区内でも情報交換をし対応して行けたらと思えます。

分区内各クラブのご協力と会員皆様のご支援を賜り、微力ではありますがお役に立てればと思っております。一年間宜しくお願い申し上げます。

流山RC 平井 賢俊 会長より

青木修ガバナー補佐は元ラガーマンらしくバイタリティーに溢れ、会員をグイグイ引っ張っていくタイプです。当クラブのみならず地区及び分区においても大活躍される方です。当クラブにおいても全会員で応援しております。宜しくお願い致します。

文庫通信 (345号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「RYLA 他」

- ◎ 「新世代奉仕RYLA」 田中作次 [2015] 7p (第7回全国RYLA研究会報告書)
- ◎ 「RYLA・その理論と実践 その1～3」 深川純一 2015 3p (純ちゃんのコーナーPartXV)
- ◎ 「RI戦略計画と青少年奉仕」 南園義一 [2015] 7p (第7回全国RYLA研究会報告書)
- ◎ 「RYLAにおける中核的価値観とリーダーシップ」 南園義一 [2015] 12p
- ◎ 「リーダーの心-第37回RYLAセミナーにおける総括講義」 深川純一 2015 16p (純ちゃんのコーナーPartXV)
- ◎ 「ロータリー平和センターの意義とロータリーに期待する事」 日比谷潤子 2015 7p (第43回ロータリー研究会報告書)
- ◎ 「オリンピックとロータリー」 水野正人 2016 4p (D.2690 地区大会記念誌)
- ◎ 「遺伝子オンにして可能性を引き出す」 村上和雄 2016 2p (D.2710 月信地区大会特集号)

[上記申込先：ロータリー文庫]

—— ロータリー文庫 ——

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日

(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま195号)

今月のピックアップ

- ・ 寄付金速報 — 今年度の送金はお早目をお願いします —
- ・ 理事会開催報告 — 来年4月採用数は40人増の780人に —
- ・ 初代よねやま親善大使・楊小平さんの退任に感謝状贈呈
- ・ ソウル国際大会に米山学友が大集合！

《今月のピックアップ記事》

ソウル国際大会に米山学友が大集合！

5月28日～6月1日、国際ロータリー年次大会がソウルで開催され、米山記念奨学会では2004年の大阪、2012年のバンコクに続き「友愛の家」にブース出展するとともに、初めての「分科会」を開催しました。今大会には地元・韓国はもとより、日本、台湾、中国、タイ、モンゴル、マレーシア、ベトナム、シンガポール、ニュージーランドなど、世界各国から多くの米山学友が参加してくれました。学友もロータリアンも「ロータリー」という大きな家族を感じて絆を深めたこのソウル国際大会でのハイライトをご報告します。

【ブース】5月28日～6月1日

米山ブースには連日、多くのロータリアンと学友が来ていただきました。常にブースの外に人があふれている状況で、その様子は、国際ロータリー/Rotary Japanのニュースになるほどでした。(続く)

記事の続き、および、そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight195_pdf.pdf

5/28～6/1 ソウル国際大会の写真を Webアルバムで公開中です。
ぜひご覧ください (公開は7月末まで)

- ブース (5/28～6/1)
<https://goo.gl/photos/TxnnVLVsGJmqquadx5>
- 5/28 学友合同懇親会
<https://goo.gl/photos/UmpYEJrbSwQQZRq8>
- 5/29 学友レセプション
<https://goo.gl/photos/TALVAwvxhBkoAmyx8>
- 5/30 分科会
<https://goo.gl/photos/JGDc1XmRBaAo2age7>

叙勲・褒章・表彰 (敬称略)

旭日小授章



浅野 薫之
(市原中央RC)

旭日双光章



山崎 幸男
(市原中央RC)

旭日小受章



高橋 弘之
(館山RC)

瑞宝双光章



榊 隆夫
(柏西RC)

寄付者紹介 (敬称略)

ベネファクター



青木 忠茂
(船橋RC) 6回目

マルチプルPHF



山田 聡
(船橋RC)



加登 章司
(船橋RC) 2回目



木村 卓生
(船橋RC) 2回目



小栗 次雄
(市原中央RC) 1回目



設楽 正行
(成田RC) 6回目



橋 昌孝
(成田RC) 8回目

マルチプルPHF



榊 隆夫
(柏西RC) 8回目



日暮 肇
(柏西RC) 5回目



川和 弘行
(柏西RC) 4回目



松本 ユミ
(柏西RC) 4回目



張ヶ谷 勉
(松戸中央RC) 1回目

新 PHF



笠川 輝美
(八千代中央RC)



島田 直弥
(八千代中央RC)

米山功労賞



齋藤 博昭
(浦安RC) 11回目



佐野 正子
(浦安RC) 3回目



関口 徳雄
(浦安RC) 5回目



植松 行永
(浦安RC) 1回目



櫻井 忠久
(船橋RC) 4回目



守屋 謙一郎
(市原中央RC) 3回目



石橋 菊太郎
(成田RC) 3回目



関原 国明
(松戸中央RC) 2回目

米山功労賞



森谷 博
(松戸中央RC) 1回目

新ロータリアン (敬称略)



松本 和城
(船橋RC)
社会保険労務士
6月7日入会



七海 順子
(千葉東RC)
幼稚園・保育園
4月20日入会



長谷部 進
(千葉緑RC)
アミューズメントセンター
1月5日入会



伊藤 伸二
(千葉緑RC)
不動産賃貸業
1月5日入会



富澤 裕一
(千葉緑RC)
コンビニエンスストア
1月19日入会



石井 輝之
(富津中央RC)
重機回送
6月9日入会



菅野 雄亮
(館山RC)
生命保険
6月1日入会



岩永 徳幸
(茂原RC)
化学工業品製造
4月28日入会



鈴木 伸也
(成田空港南RC)
リサイクル業
4月7日入会



大越 将司
(大網RC)
団体職員
4月6日入会



永澤 信
(銚子RC)
海上保険
5月25日入会



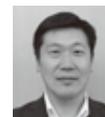
田中 孝一
(佐倉RC)
酒類醸造小売
6月2日入会



柴田 大治
(松戸RC)
都市銀行
6月8日入会



谷口 貴光
(松戸東RC)
一般廃棄物処理
6月10日入会



竹内 貴志
(松戸中央RC)
証券業
4月14日入会



秋山 由美子
(松戸中央RC)
税理士
9月24日入会



三上 昭
(松戸中央RC)
建築工事
10月15日入会



杉原 伴
(松戸中央RC)
カイロプラクティック
11月15日入会



池田 剛
(松戸中央RC)
証券代行
11月15日入会



井上 尊王
(流山RC)
住宅建設
5月12日入会

国際ロータリー第2790地区（千葉）出席・会員数報告（2016年5月分）

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1分区	市川	100.00	3	39	0	41	0	2
	市川東	100.00	4	41	0	41	0	0
	市川南	77.00	3	16	2	17	2	1
	浦安	87.20	2	35	1	36	2	1
	市川シビック	88.00	3	36	0	36	0	0
	浦安ベイ	71.42	3	16	0	13	0	△3
第2分区	船橋	89.16	4	23	0	29	0	6
	船橋西	91.63	3	41	7	40	7	△1
	鎌ヶ谷	87.10	3	29	2	32	2	3
	船橋東	86.35	3	28	1	31	2	3
	船橋南	84.85	3	14	2	16	4	2
	船橋みなと	79.98	4	17	4	22	5	5
第3分区A	千葉	99.81	3	66	1	76	2	10
	新千葉	74.26	3	50	0	52	0	2
	千葉西	82.31	3	59	4	58	3	△1
	千葉中央	78.79	2	37	0	34	0	△3
	千葉幕張	85.14	4	35	2	38	2	3
	千葉東	84.15	4	31	3	34	4	3
	千葉若潮	75.93	2	30	1	31	1	1
第3分区B	千葉南	80.05	3	49	6	54	7	5
	市原	81.98	3	41	2	42	2	1
	千葉港	86.36	3	21	2	25	2	4
	市原中央	81.02	4	47	2	50	2	3
	千葉北	69.00	3	21	1	22	1	1
	千葉緑	65.18	4	25	2	28	2	3
第4分区	木更津	83.63	3	27	3	29	3	2
	上総	72.54	3	17	0	17	0	0
	富津	67.85	4	9	0	10	0	1
	富津中央	85.14	3	26	1	27	1	1
	木更津東	87.16	3	42	0	42	0	0
	君津	95.73	4	43	1	50	2	7
	袖ヶ浦	90.67	4	23	3	25	3	2
	富津シティ	82.20	3	14	1	15	1	1
	館山	87.01	3	56	3	55	3	△1
第5分区	鴨川	100.00	3	33	7	33	7	0
	勝浦	92.80	4	33	4	37	4	4
	千倉	83.33	3	10	2	10	2	0
	鋸南	84.90	2	14	1	13	1	△1
	館山ベイ	63.60	3	20	0	20	0	0
第6分区	茂原	87.15	3	64	3	66	3	2
	東金	90.16	3	22	1	20	1	△2
	大原	76.70	3	12	1	10	1	△2

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第6分区	大多喜	95.83	4	6	1	6	1	0
	成田空港南	75.93	3	37	0	39	0	2
	茂原東	88.88	3	22	2	22	2	0
	茂原中央	82.36	4	13	2	17	2	4
	大網	78.89	3	29	1	30	1	1
	東金ビュー	79.40	3	20	1	21	1	1
第7分区	銚子	77.89	3	44	4	41	4	△3
	旭	57.55	4	43	2	45	3	2
	八日市場	72.97	4	38	2	40	2	2
第8分区	銚子東	84.86	4	39	2	37	2	△2
	佐原	86.71	3	47	0	49	0	2
	多古	71.42	3	14	0	15	0	1
第9分区	小見川	75.98	3	22	0	23	0	1
	佐原香取	81.81	4	25	1	24	1	△1
	成田	75.00	3	61	0	61	0	0
第10分区	八街	91.25	3	30	1	32	2	2
	印西	91.66	3	23	0	23	1	0
	白井	53.94	4	23	0	19	0	△4
	富里	65.51	4	27	0	31	0	4
	成田コスモポリタン	71.05	3	68	0	67	0	△1
	柏	79.20	3	51	10	57	9	6
第11分区	我孫子	80.17	4	24	1	24	1	0
	柏西	84.65	3	62	5	63	5	1
	柏東	88.89	3	29	3	32	4	3
	柏南	72.70	4	33	5	33	5	0
	習志野	84.21	3	27	1	26	1	△1
	八千代	84.00	3	46	0	49	0	3
第12分区	佐倉	60.87	4	18	2	23	3	5
	八千代中央	77.00	4	28	1	29	2	1
	四街道	81.95	4	23	2	25	2	2
	習志野中央	82.40	3	47	6	48	6	1
	佐倉中央	68.25	3	19	3	21	4	2
	松戸	89.73	3	57	0	56	0	△1
第13分区	松戸東	93.69	3	46	0	46	0	0
	松戸北	80.71	4	37	0	38	0	1
	松戸中央	83.33	2	39	6	44	6	5
	松戸西	82.00	4	30	0	31	0	1
第13分区	野田	81.46	4	58	8	60	8	2
	流山	77.88	4	16	4	17	4	1
	野田東	82.41	4	31	0	27	0	△4
	流山中央	92.98	3	22	2	23	2	1
野田セントラル	76.81	3	24	0	24	0	0	

クラブ数 84RC	2015年7月1日	地区会員数	2,711人	当月平均出席率	82.60%
	2016年5月末日	地区会員数	2,816人	増減	+105
	2015年7月1日	地区女性会員数	154人	女性会員増減	+14
	2016年5月末日	地区女性会員数	168人		

7月のロータリーレート

106円

KIRA CLUB in DISTRICT 2790

【印西RC】今井 守 会員

2016-17年度は、青木ガバナーの方針のもと、2790地区内の元気で活力あるクラブまたは会員を紹介するコーナーを設けることとした。

さて、本号では、9分区印西RCの今井 守会員を紹介したい。クラブ入会は、およそ42年前の昭和49年8月30日。なっ、なんと! 驚くことなかれ、大正10年7月28日生まれなのだ。誕生日を迎えれば満95歳になる。地元で今井医院院長を務める現役内科医である。

ものすごいのもう一つ。クラブ例会は皆勤で現在も記録更新中である。例会には毎回、雑誌などの「健康情報」コピーを持参し、出席会員に全員に配布。この「健康情報」は、さまざまな病気(特に、生活習慣病)についての知識、罹病の兆候、予防や日ごろの健康管理について等々、多岐にわたる。

また、毎年冬へ向かう時期には、例会終了後、希望会員にインフルエンザの予防接種を行うのも、クラブの恒例行事となっている。

このような重鎮の存在を知ること、その活力に敬服すると共に喜びを感じずにはいられない。更なる健寿を祈ってやまない。

(月信編集委員会S.T記)



ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 青木 貞雄
地区指名委員会 委員長 関口 徳雄

国際ロータリー細則13.020.4項により、2018-2019年度ガバナー・ノミニー候補者の推薦を希望するロータリー・クラブは、2016年9月5日までに地区ガバナー指名委員会委員長宛(第2790地区ガバナー事務所気付)に文書を以てご推薦くださいますようお願いいたします。推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事がその決議を証明するかたちで推薦書を提出してください。

なお、ガバナー指名委員会委員長がその選択をするにあたっては、その選択範囲地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。(国際ロータリー細則13.020.5項)

ガバナー・ノミニーの資格条件は、国際ロータリー細則15.070項をご参照ください。

周年記念
おめでとうございます

7月16日(土)

市川南RC創立40周年

2015-16年度(5月・6月)

- 野田東RC 創立40周年
- 鴨川RC 創立55周年
- 成田RC 創立55周年
- 八街RC 創立50周年
- 我孫子RC 創立50周年
- 野田RC 創立60周年
- 松戸西RC 創立30周年



今月の表紙 成田祇園祭 開催場所：千葉県成田市 開催日：2016年7月8日~7月10日

成田祇園祭は、成田山新勝寺のご本尊不動明王の本地仏である奥之院に奉安された「大日如来」に祈願する「成田山祇園会」と、成田山周辺の町内が一体となり行われる祭りで、約300年の歴史をもつ。祇園会期間中の7月8日に最も近い、金・土・日の3日間に成田祇園祭が開催され、成田の街はお祭り一色に染まる。成田山の御輿と豪華絢爛な山車、屋台がにぎやかなお囃子の音色や威勢のよいかげ声と共に成田山へ続く参道を中心に巡行する。〔社団法人成田市観光協会 OHPより〕